

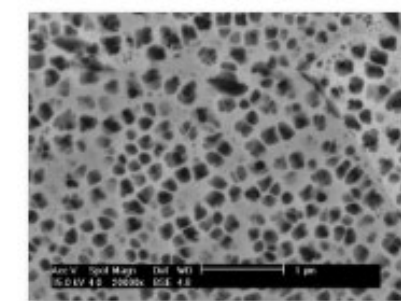
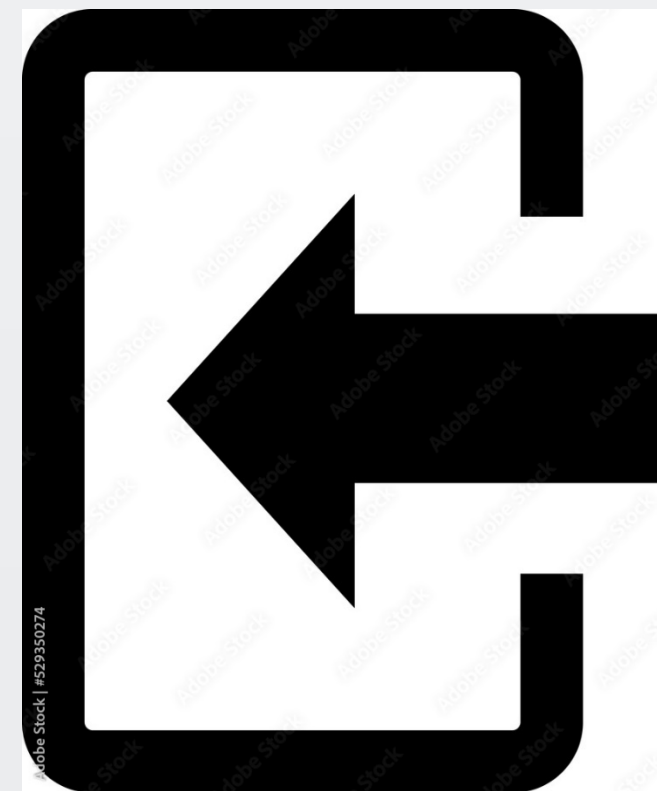
画像解析ソフトウェアMIPAR



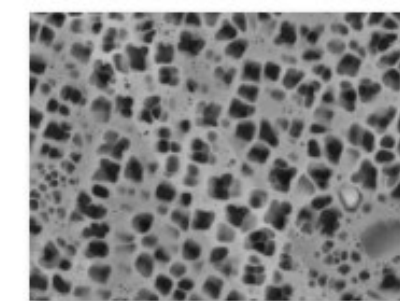
MIPAR

Image Analysis Software

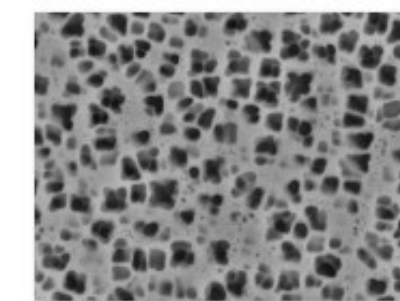
複数の画像を入力して複合的に解析



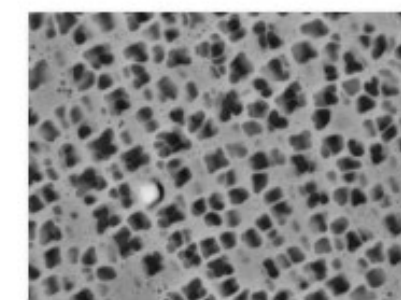
I3 20 kx.TIF



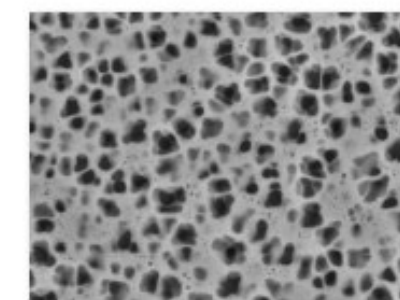
I43 20 kx.TIF



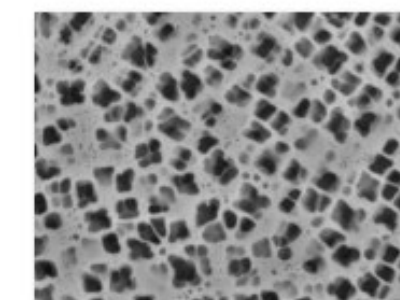
I45 20 kx.TIF



I47 20 kx.TIF



I49 20 kx.TIF



I51 20 kx.TIF

Simple. Uniquely Powerful.

複数の画像を入力して複合的に解析

複数の画像を入力して、合成や比較を行ったり、
コンパニオン画像にして測定リファレンスにしたりすることが出来ます。

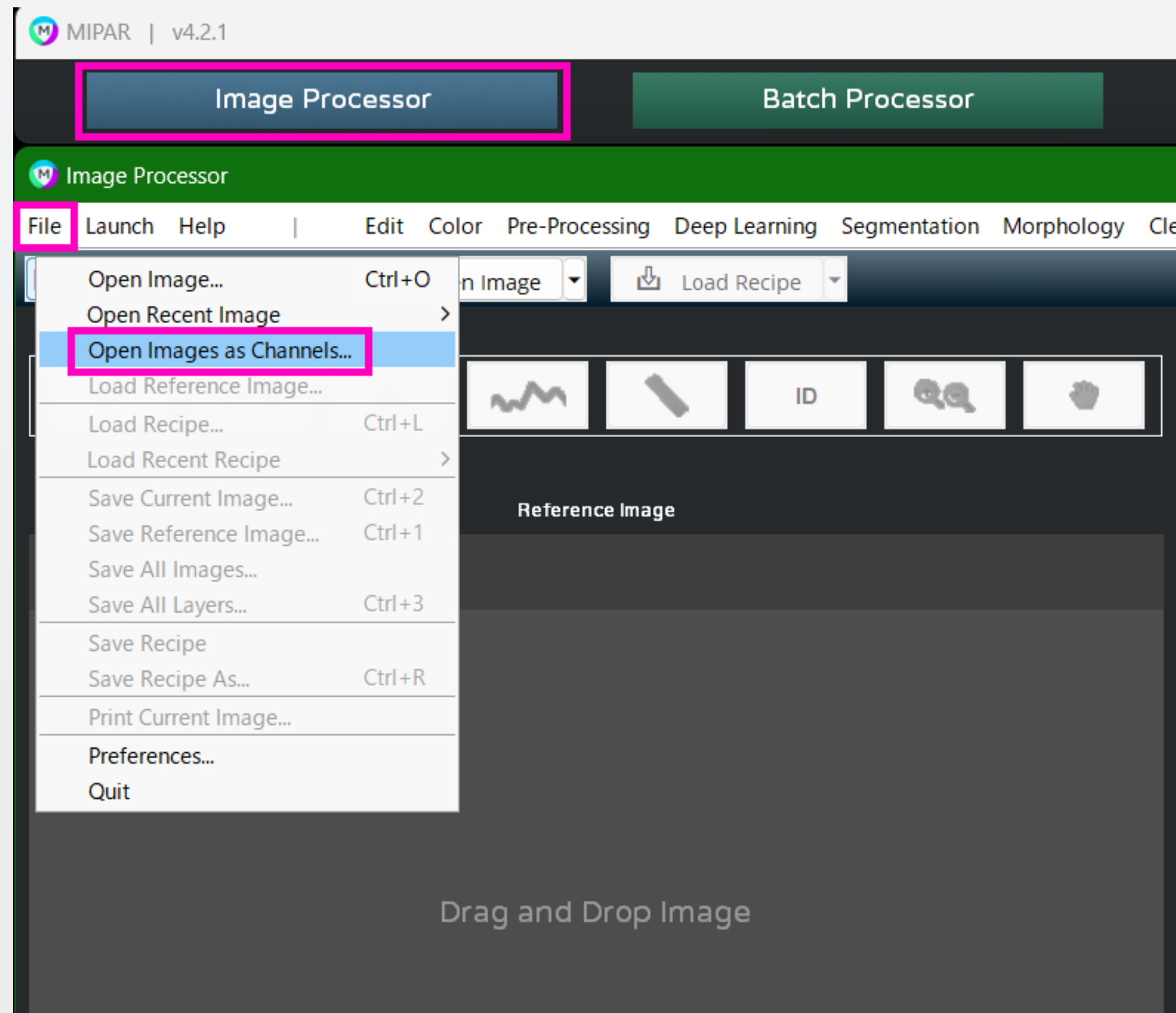


Image Processorを開いて、
メニューの「File」から、
「Open Images as Channels」を
選択してください。

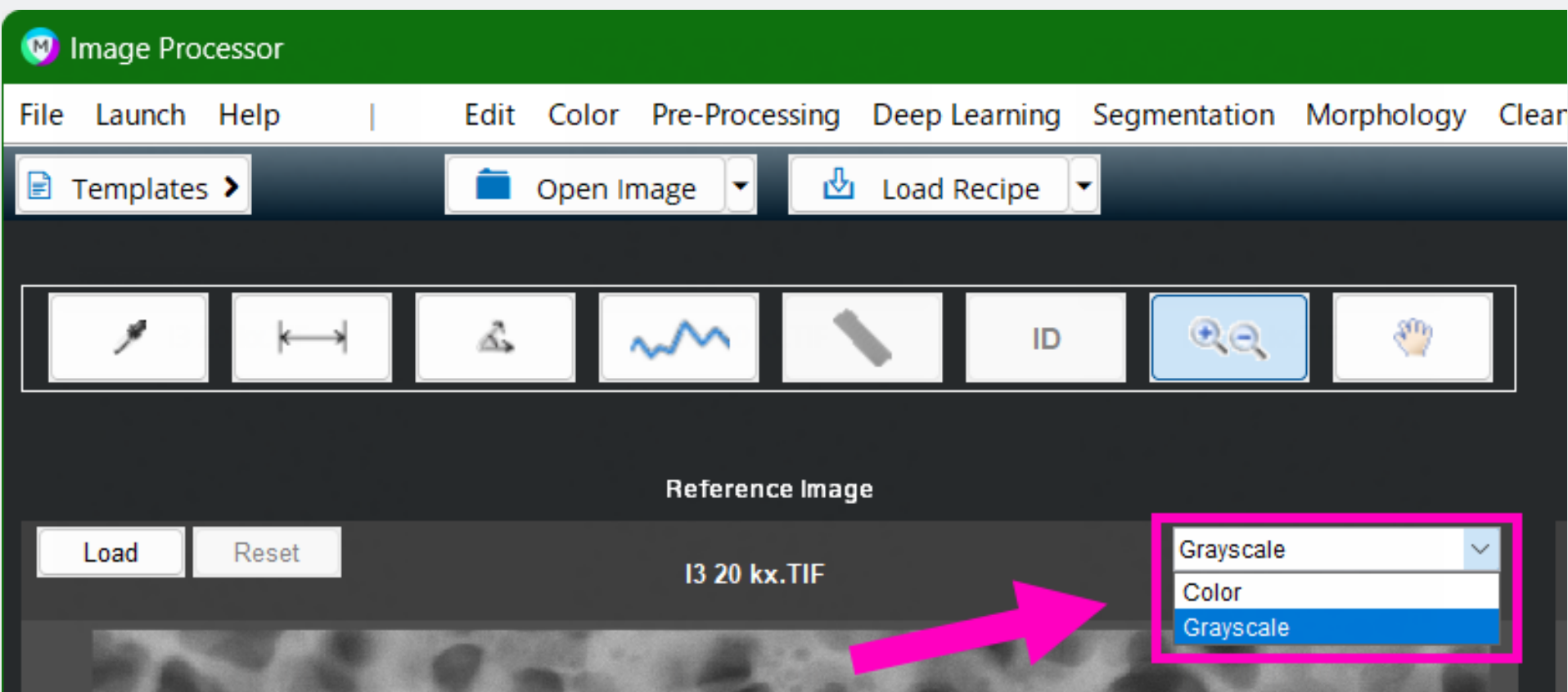
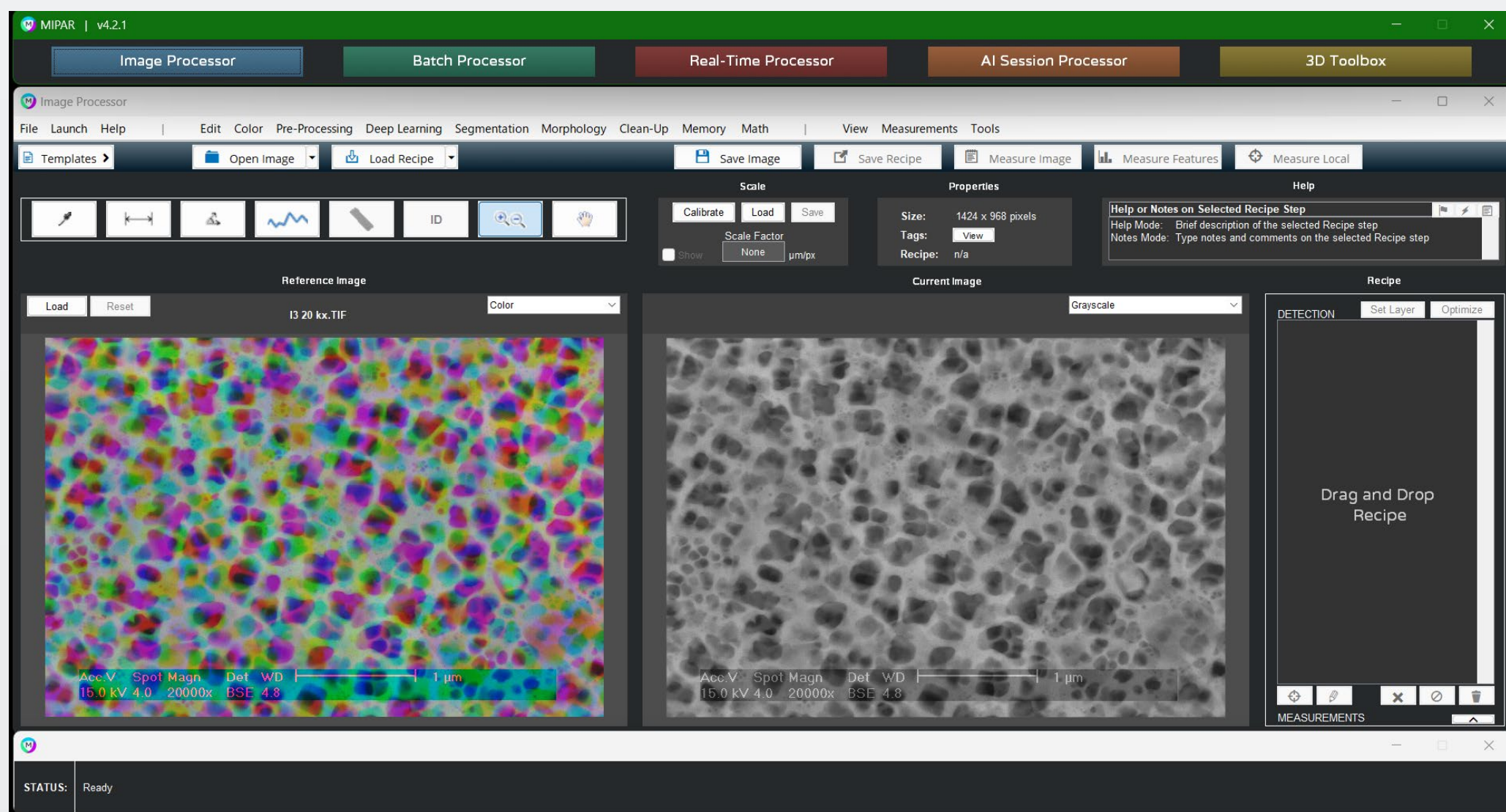
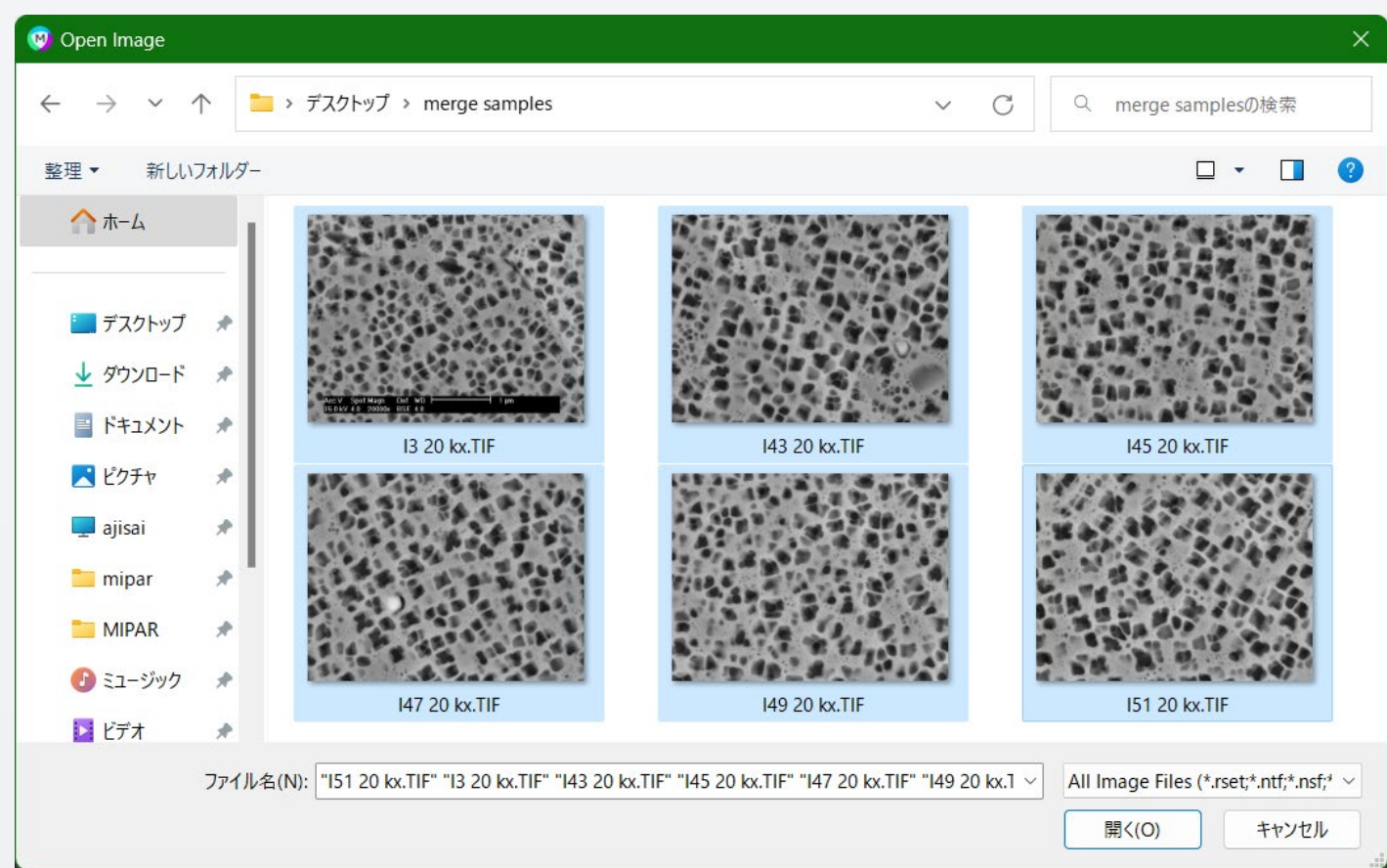
※ここでは、グレイスケールの
画像のみが対象となります。

※カラー画像は、Memoryメニューの
「Load Companion Image」による
操作をご利用下さい。

複数の画像を入力して複合的に解析

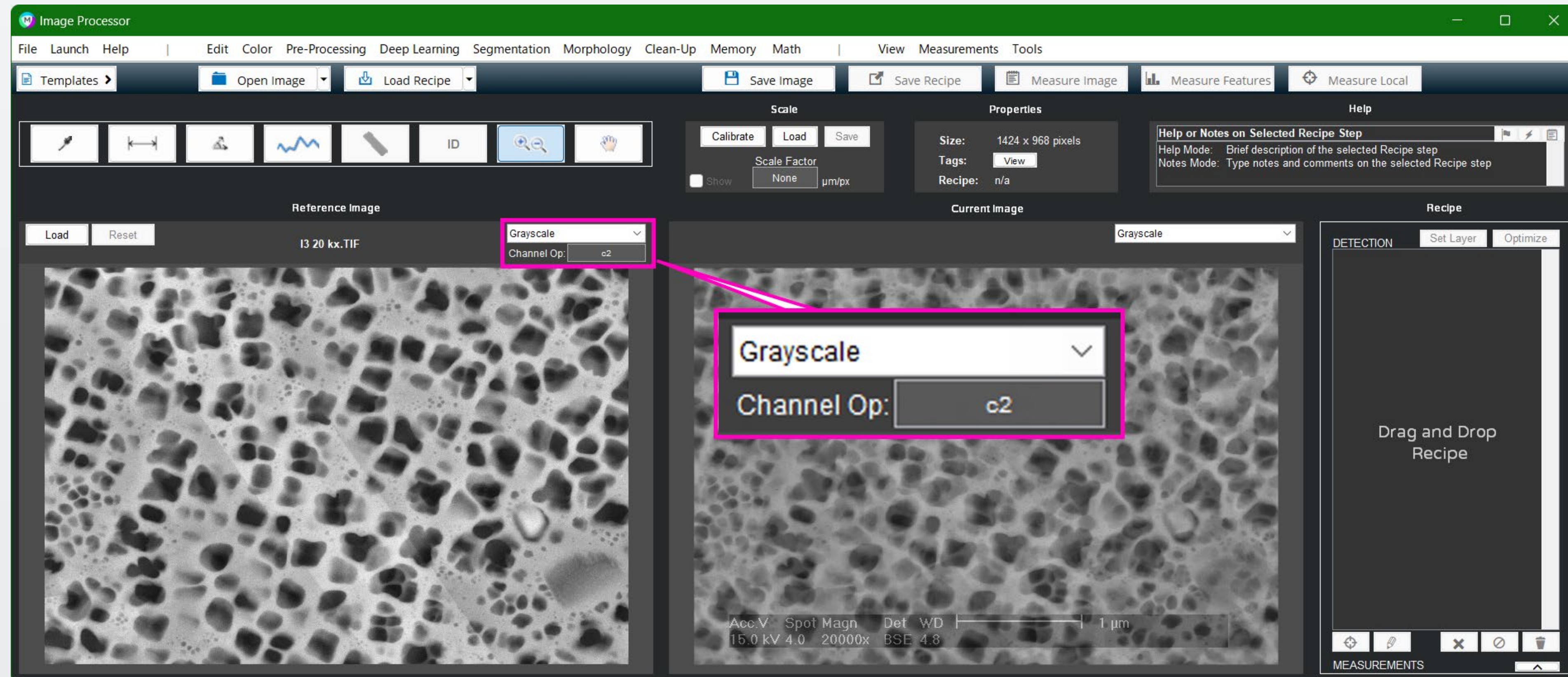
今回は、左の6枚の画像を一度に選択しています。

最初、全ての画像が合成されたカラー画像で表示されていますので、グレイスケール表示に変更してください。



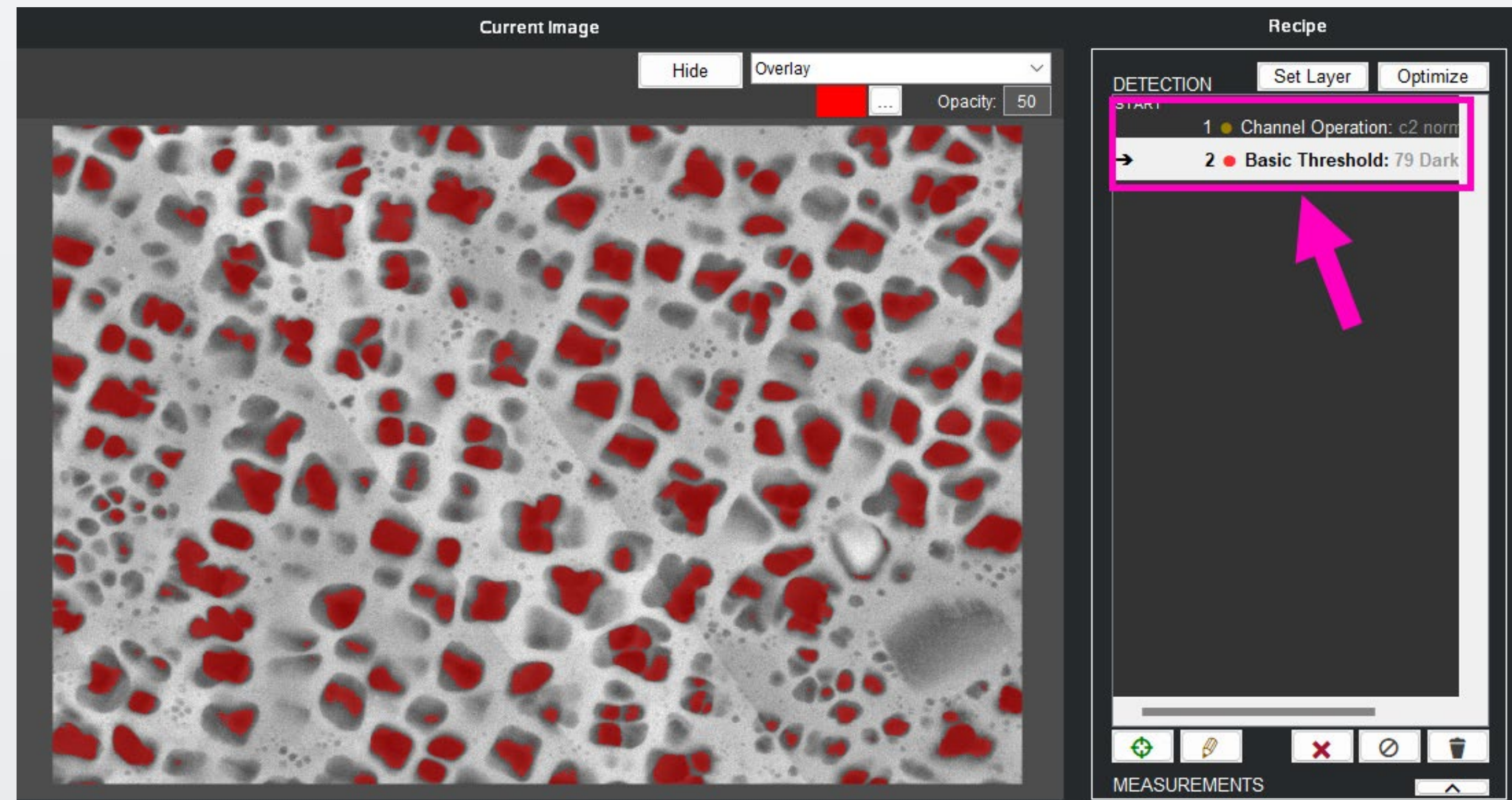
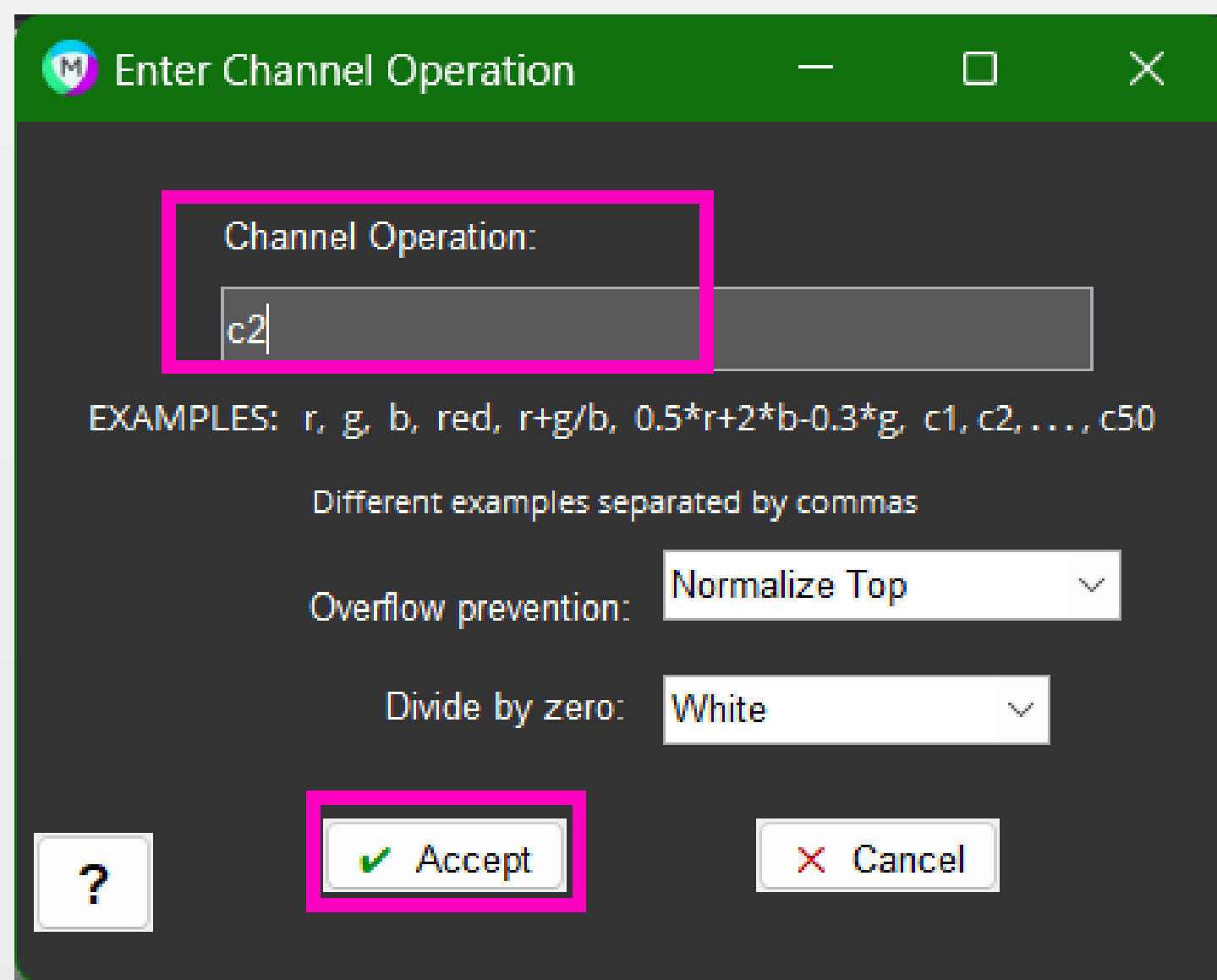
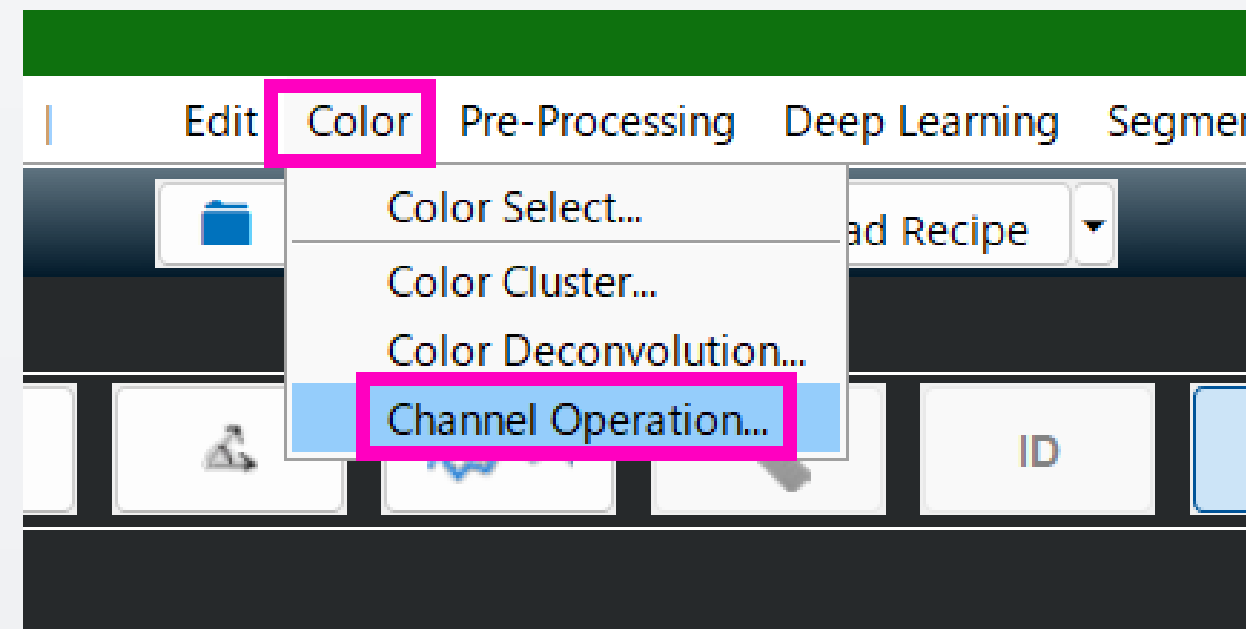
複数の画像を入力して複合的に解析

グレイスケールに変更すると、チャンネルで表示画像を変更できます。
c1、c2、c3・・・という名称のチャンネル名が、画像に付けられています。
(※画像名のアルファベット順に登録されています)



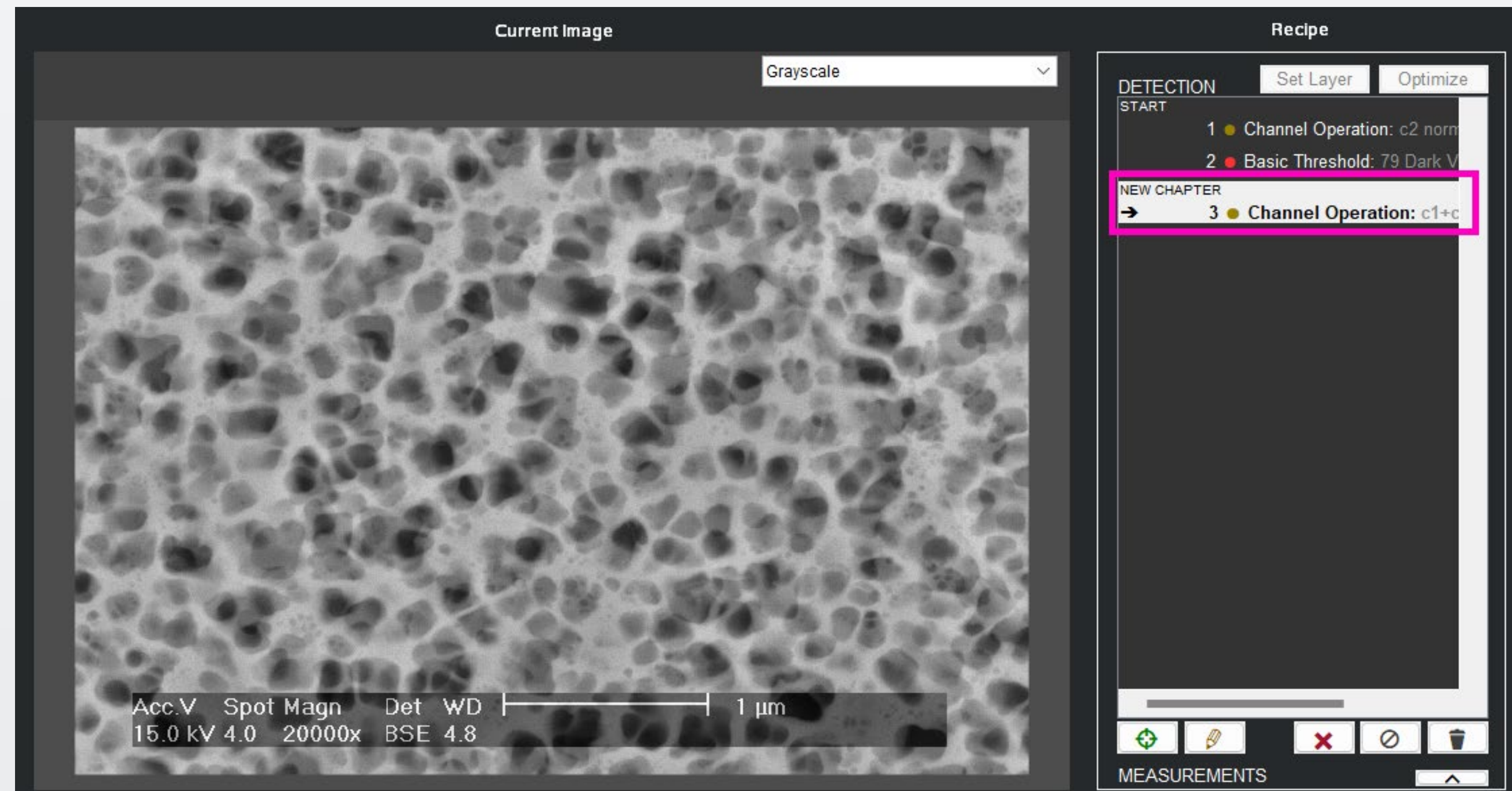
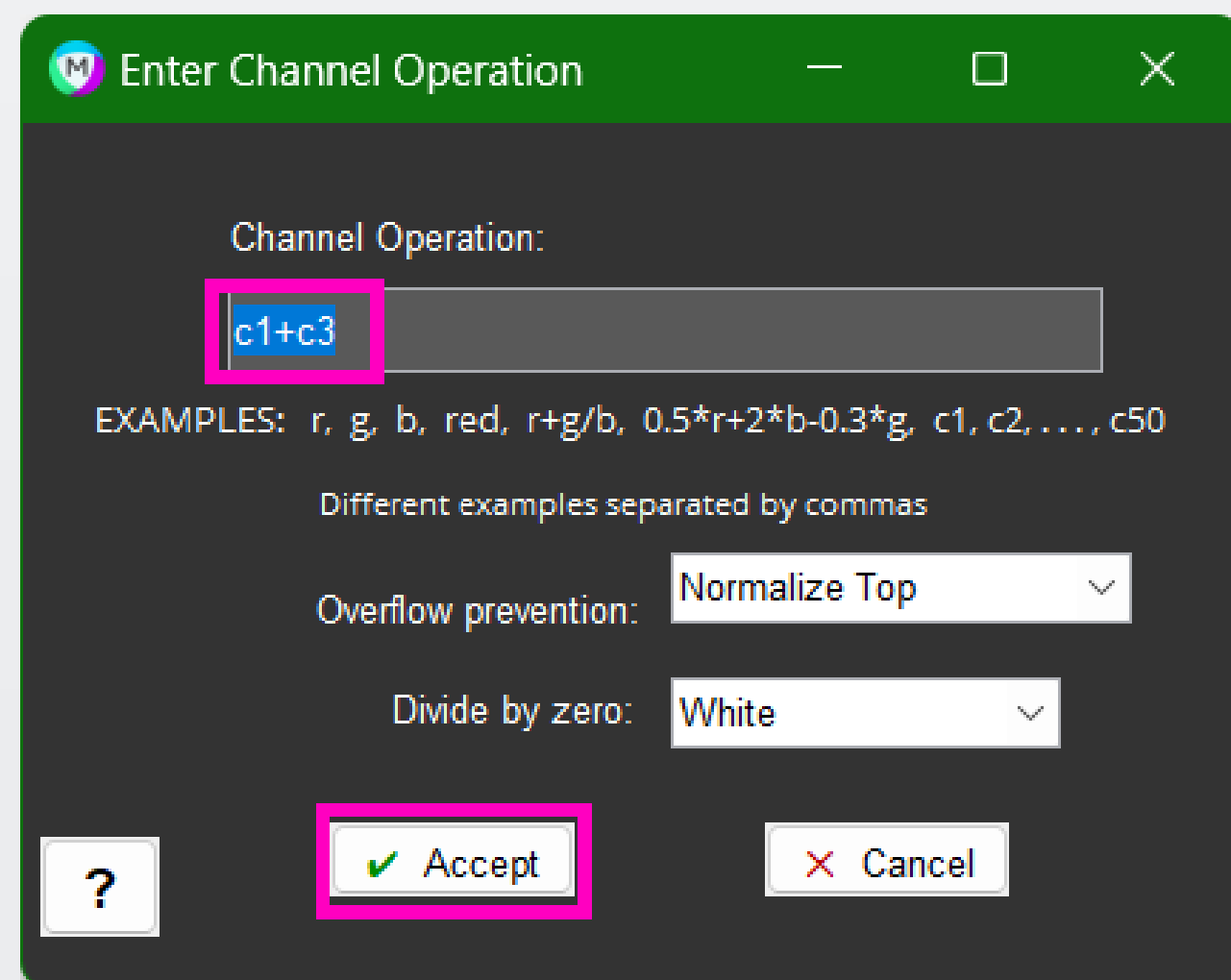
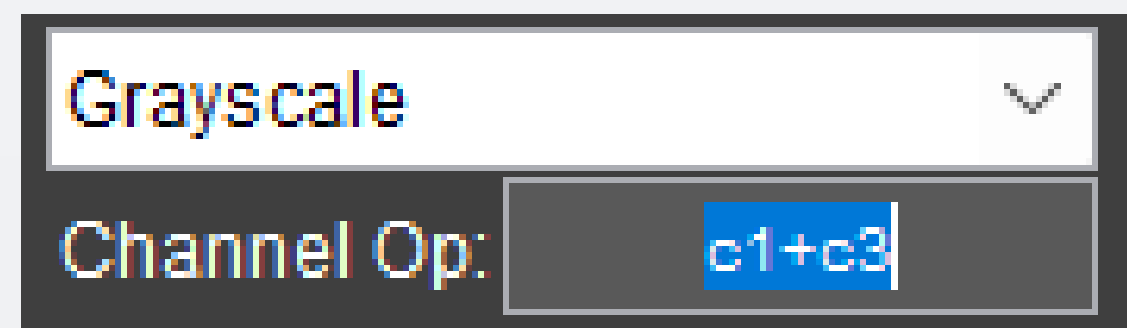
複数の画像を入力して複合的に解析

対象とする画像のチャンネル名がわかりましたら、「Color」メニューから「Channel Operation」を開いて、チャンネル名を入力し、その画像（ここではc2）を右側の画面に呼び出します。その後、Basic Thresholdなどの2値化処理を行ってください。



複数の画像を入力して複合的に解析

2つの画像を合成して解析したい場合には、 $c1+c3$ という形で演算を入力します。
算術演算子には、「+」、「-」、「*」、「/」、「^」、「(」と「)」、「[」と「]」、
および「~」を使用できます。（正規化や計算によるオーバーフロー時のゼロ除算などの設定も可能です）



このような手順でレシピを作成して、複数の画像を一度に処理したり、複雑に演算して解析したりすることが可能です。

他にも ・ ・

1つの画像から複数の領域を設定し、もう1つの画像を輝度のレファレンスにして、それぞれの領域内の平均輝度、標準偏差輝度、合計輝度を測定できます。

具体的なレシピ設定や、画像の取り回しの仕方につきましては、ご遠慮なくライトストーン技術サポートまでご相談ください。

ご覧頂き有難うございました



MIPAR

Image Analysis Software

お問い合わせはこちらまで

米国MIPAR社 日本国内販売代理店 株式会社ライトストーン

TEL: 03-3864-5211 Email: Sales@lightstone.co.jp



株式会社ライトストーン